

災害のないまちを目指す 市消防団出初式を開催



辞令を受ける女性団員の小山恵美さん

1月17日、市中央公民館で消防団員ら約600人が出席して、恒例の消防出初式が行われました。式典では、新たに団員となった32人に辞令を交付するとともに功労のあった団員などに表彰が行われました。その後、児島直臣団長が、「わがまちは自ら守るという奉仕精神のもと、責任を持って任務を遂行する」とあいさつしました。なお、今年は、初めて女性団員4人が入団。広報などの予防活動に従事することになっており、新たな防災の担い手としての活躍が期待されています。

たくさん食べたよ 邑久保育園でもちつき



「おもちになっとる〜」 子どもたちは大喜び!

1月15日、邑久保育園で園児やボランティアのお年寄りによるもちつきが行われました。この日は、10kgのもち米を用意。蒸したもち米を臼に入れ、おじいちゃんもちつきの手本を見せると、園児たちも保育士に手を添えてもらい小さなきねで挑戦。「よいしょー、よいしょー」の掛け声に合わせて一生懸命つきました。つき上がったおもちも、おばあちゃんに教えてもらいながら丸められ、早速お昼に雑煮としておいしく食べました。

刀剣文化の振興に役立てて 全日本刀匠会がチャリティバザーの収益の一部を寄付



福池教育長職務代理者へ寄付金を渡す坪内常務理事(左)

1月15日、全日本刀匠会の坪内哲也常務理事が、教育委員会を訪れ、5万円を寄付しました。この寄付金は、昨年12月に、長野市内の百貨店で、刀匠の皆さんが、包丁や小刀などを持ち寄って開催したチャリティバザーの収益の一部です。同常務理事は、「瀬戸内市は、全国的にみても多くの刀匠が住むまち。刀剣文化の振興にぜひ役立ててください」と福池敏和教育長職務代理者に寄付金を手渡しました。今後、市では、刀剣購入等準備基金に積み立てることにしています。

冬の味覚を満喫! 邑久町漁協かきまつりが開催



1 大きな身が詰まった焼きガキにみんなビックリ! / 2 くじ引きでは、むき身、殻付きのカキセットをプレゼント。大喜びの瞬間! / 3 ほとんどパズル? 大人も子どもも夢中になって挑戦したカキのパッケージ詰め放題 / 4 雨雲を散らすように響いた裳掛小学校の和太鼓



1月31日、邑久町漁業協同組合主催の邑久町漁協かきまつりが同組合市場(邑久町虫明)で開かれました。裳掛小学校5年生の元気いっぱいの和太鼓を合図に販売開始。訪れたたくさんお客さんは、待ってましたとばかりに格安のカキやおこわ、コロッケなどを買い求めていました。また殻付きカキのパッケージ詰め放題、焼きガキやカキ味噌汁の無料試食などのコーナーも大人気! 5年生も総合学習の一環として養殖したカキの販売。子どもたちの威勢のいい声に誘われ、あっという間に売り切れていました。虫明のカキは、3月下旬まで出荷が続きます。春に向けて身はますます大きく、味も濃厚に。ほかの地域では味わえないこの時期のカキ。その美味しさ、ボリュームにきっと驚くはずですよ。

■問い合わせ先
邑久町漁協直売所 ☎0869-25-1010(定休日 火曜日)

いつまでもお元気で 大榎知枝子さんが満100歳に



谷田参与が読み上げるお祝い状に笑顔の大榎さん(左)

1月28日に大榎知枝子さん(牛窓町鹿忍)が満100歳を迎え、谷田孝史保健福祉部参与や原裕康備前県民局健康福祉課班長らがお祝いに入所している有料老人ホーム モア・ライフを訪問。職員や家族の皆さんに見守られながら、お祝い状などを手渡されると、大榎さんは「うれしいです」と喜びを語っていました。広島原爆でご主人が戦死され、大変な苦勞をして4人の子どもを育てたそうです。息子さんたちの訪問が元気の秘訣という大榎さん。これからも元気で過ごしてください。